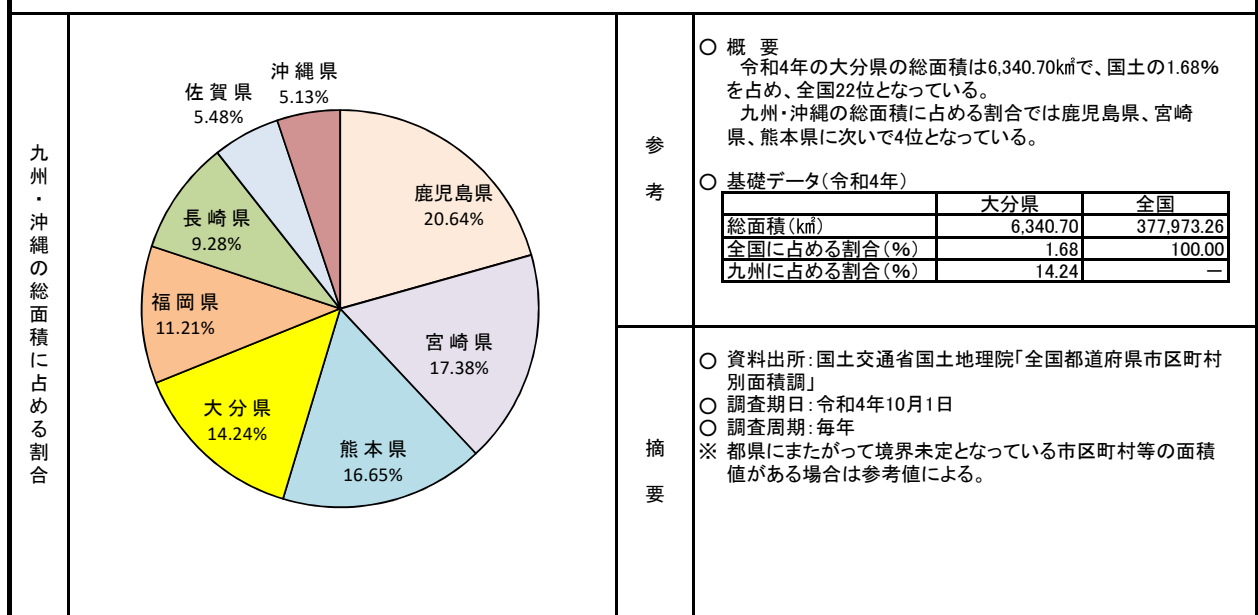
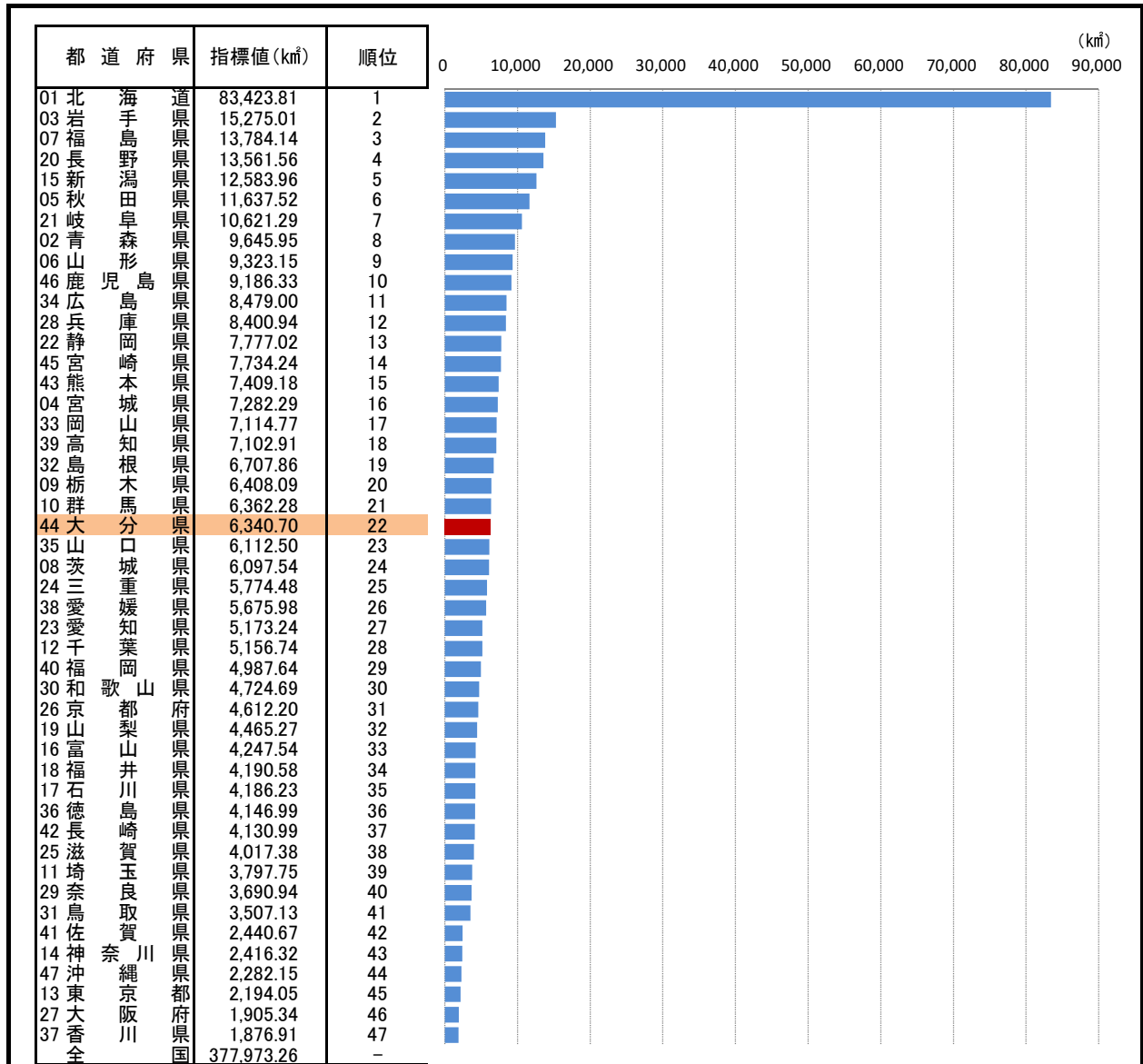


13. 総面積

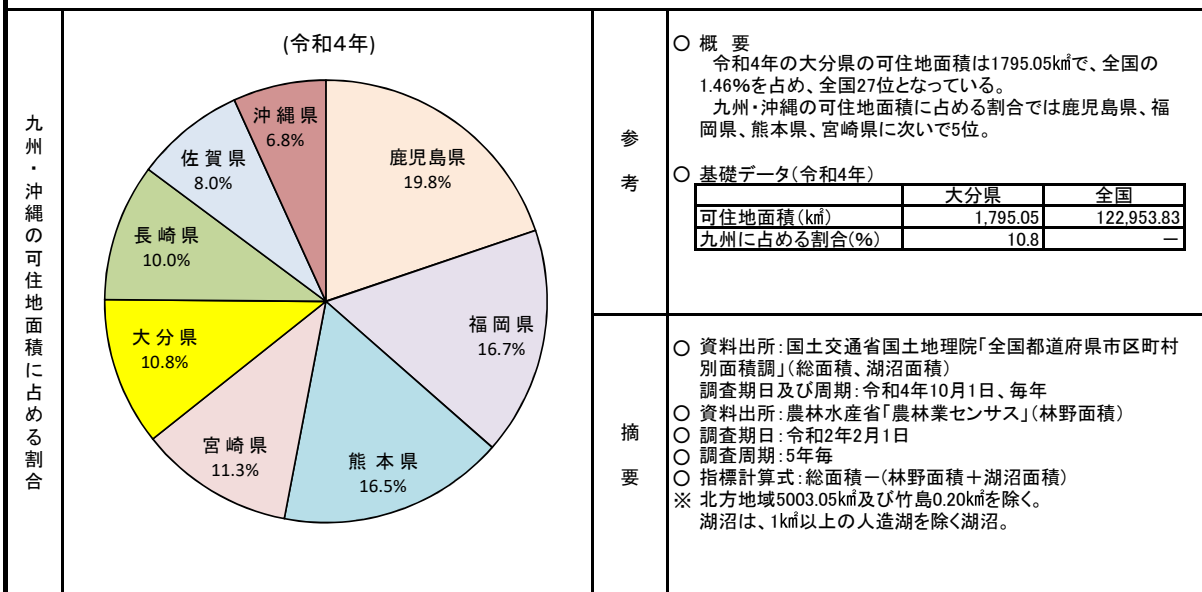
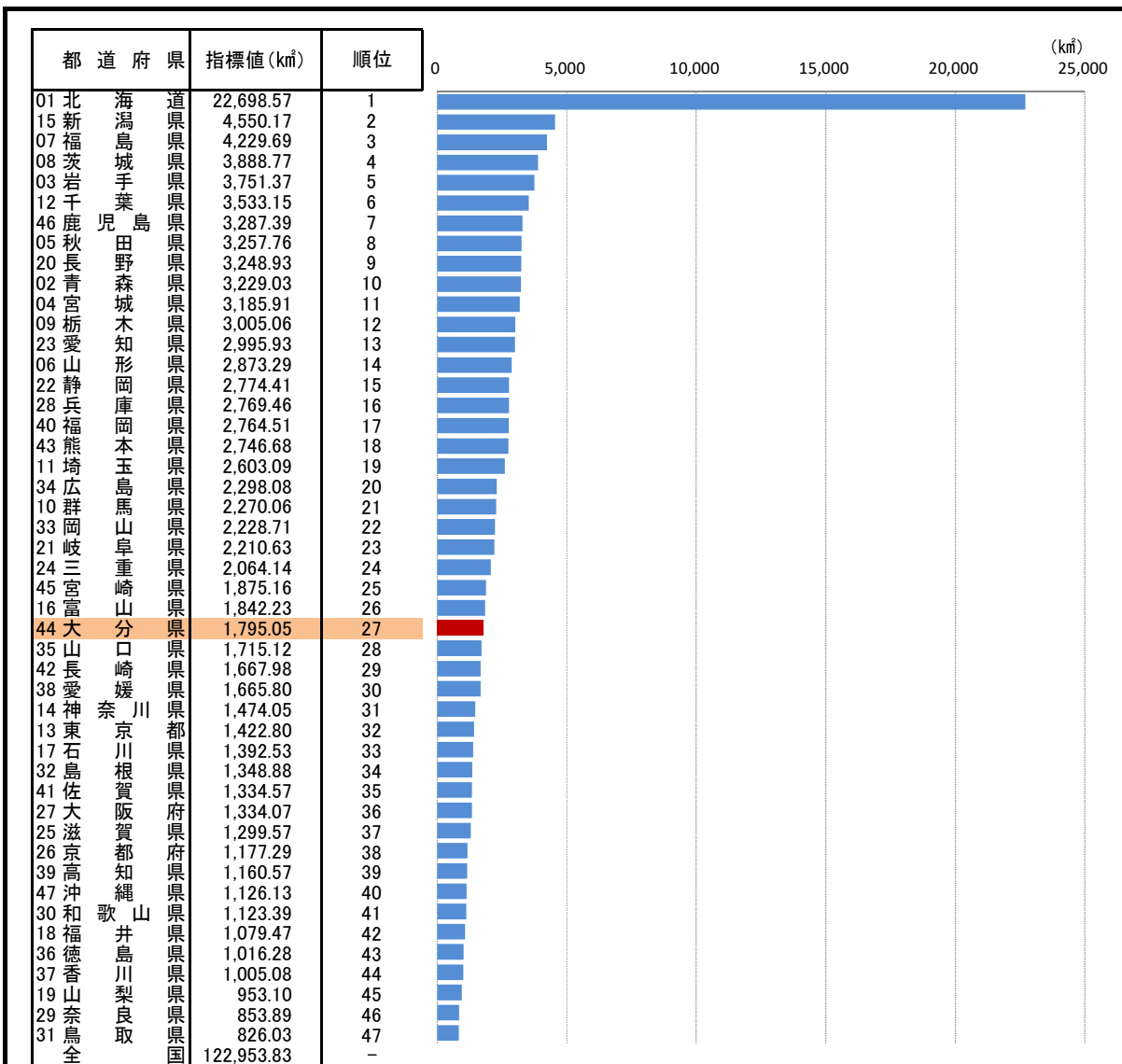
— 令和4年 —



* 順位は数値の大きい方からつけています。

14. 可住地面積

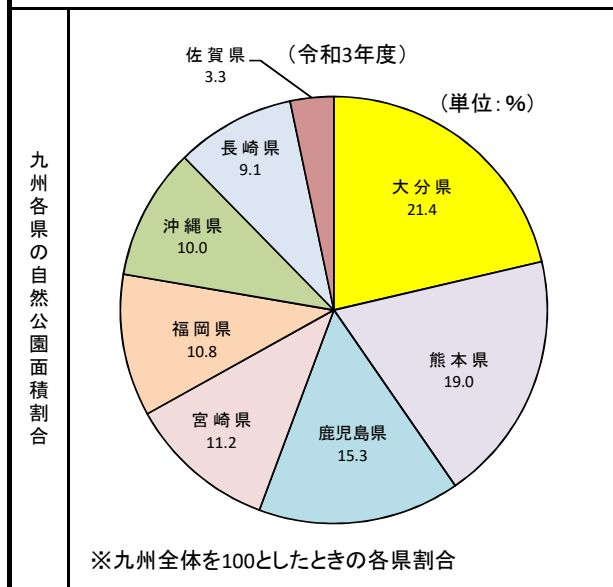
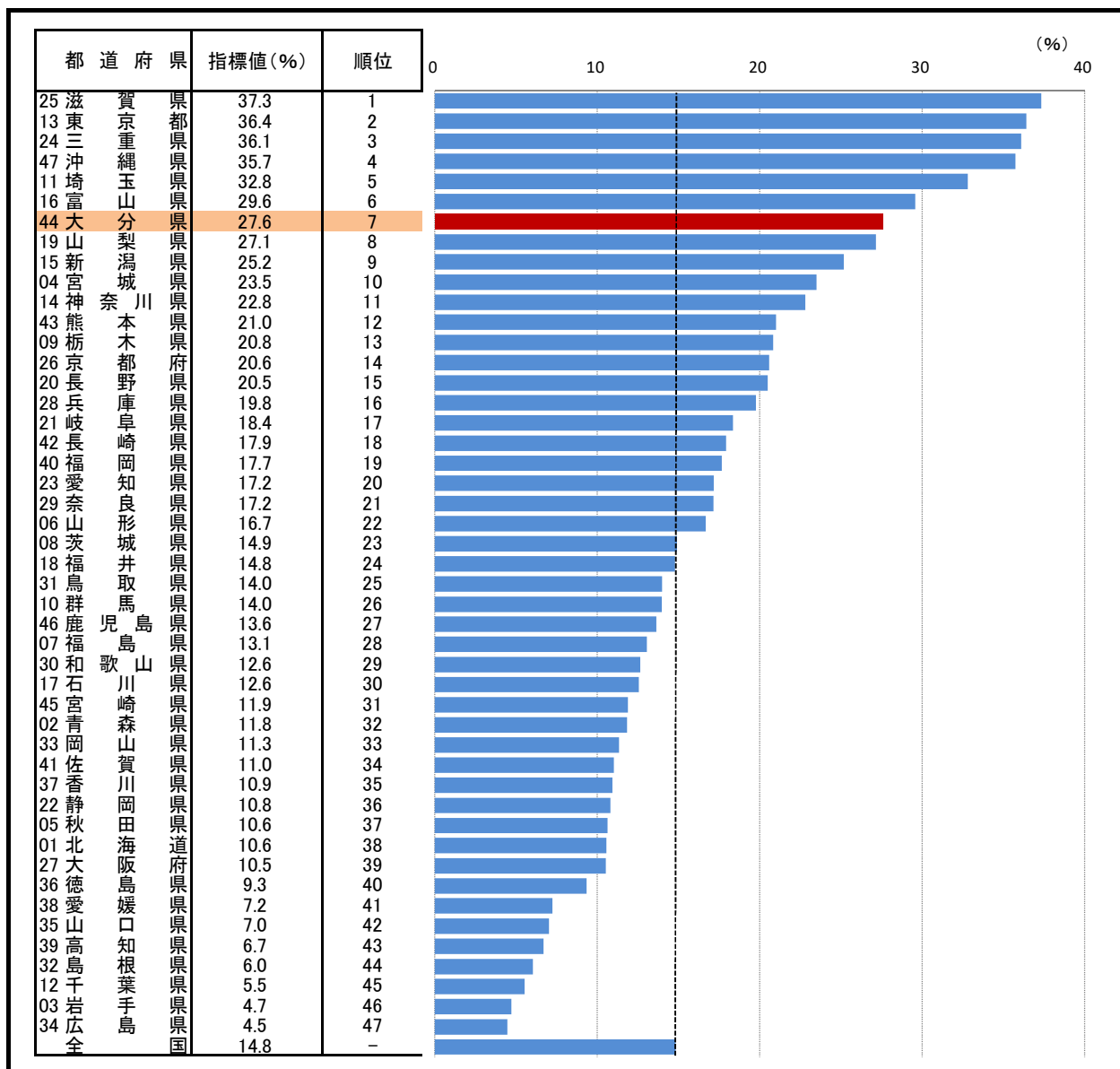
— 令和4年 —



* 順位は数値の大きい方からつけています。

15. 自然公園面積割合

—令和3年度—



参 考

○ 概 要
令和3年度の大分県の自然公園面積は174,730haで、県土の27.6%を占め、県土に占める割合では全国7位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標(令和3年度)

	大分県	全国
自然公園面積(ha)	174,730	5,601,987
自然公園数(箇所)	10	488

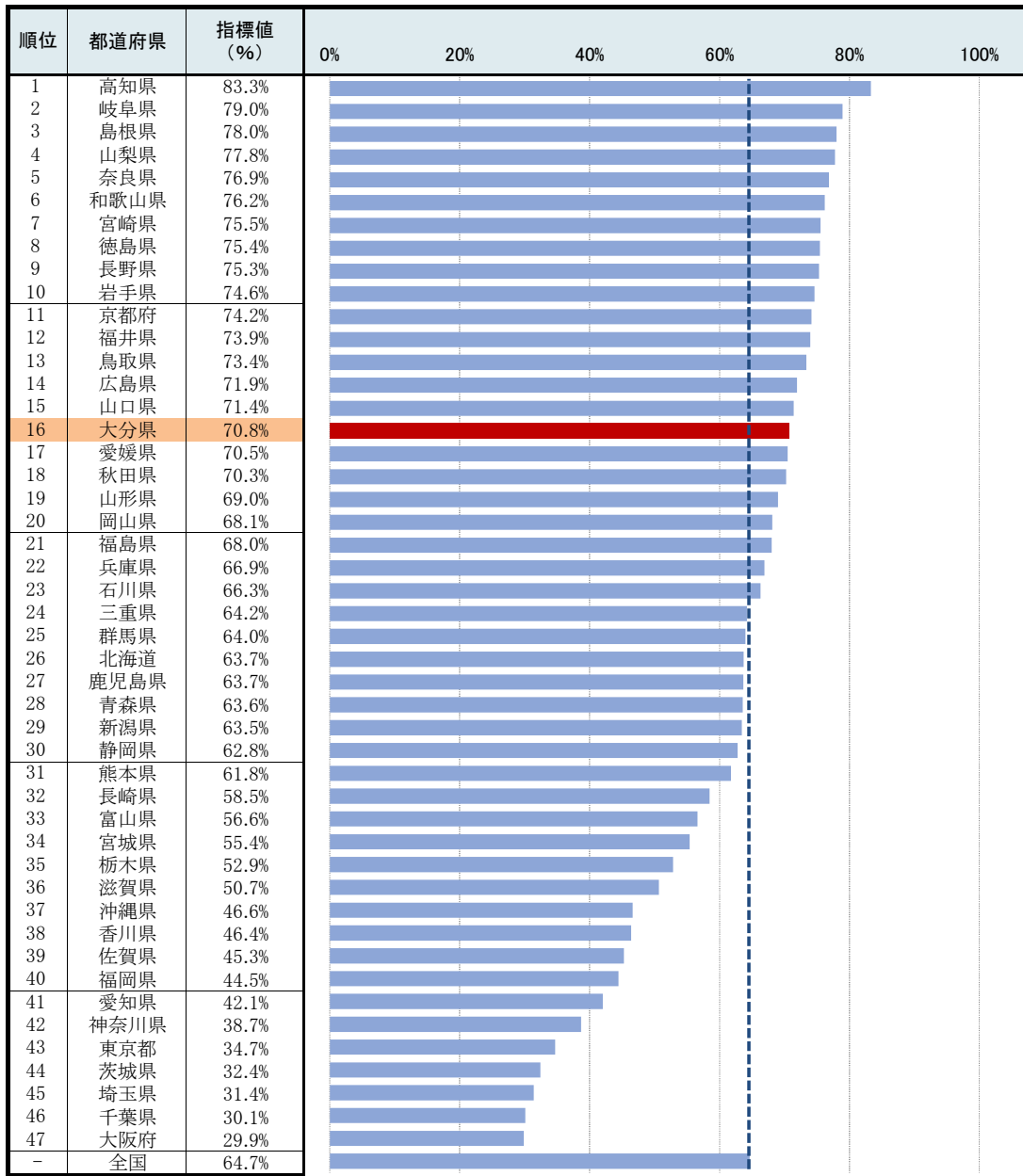
摘 要

- 資料出所: 環境省「日本の国立公園 法令・各種資料」
- 調査期日: 令和4年3月31日
- 周期: 毎年
- 自然公園: 自然公園法の規定により、優れた自然の風景地の保護と快適で適正な利用の増進などを目的として指定された区域。国立公園、国定公園、都道府県立自然公園の3種類がある。
- 指標計算式: 自然公園面積/県土面積

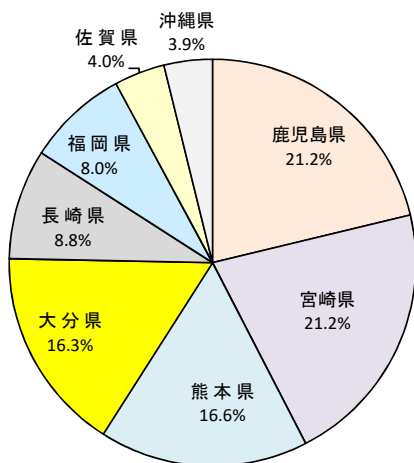
* 順位は数値の大きい方からつけています。

16. 森林面積割合

— 令和2年 —



【九州の森林面積に占める割合】



※九州全体を100%としたときの各県割合

○ 概要

令和2年の大分県の森林面積は4,486.29km²で、県土の70.8%を占め、県土に占める割合では全国16位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標(令和2年)

	大分県	全国
森林面積(km ²)	4,486.29	244,362.67
九州に占める割合(%)	16.3	-

○ 資料出所

農林水産省「2020年農林業センサス」

○ 調査時点

令和2年2月1日

○ 調査周期

5年毎

○ 森林面積

森林法第2条に規定する森林(木竹が集団的に生育している土地及びその土地の上にある立木竹並びに木竹の集団的な生育に供される土地)の面積をいう。

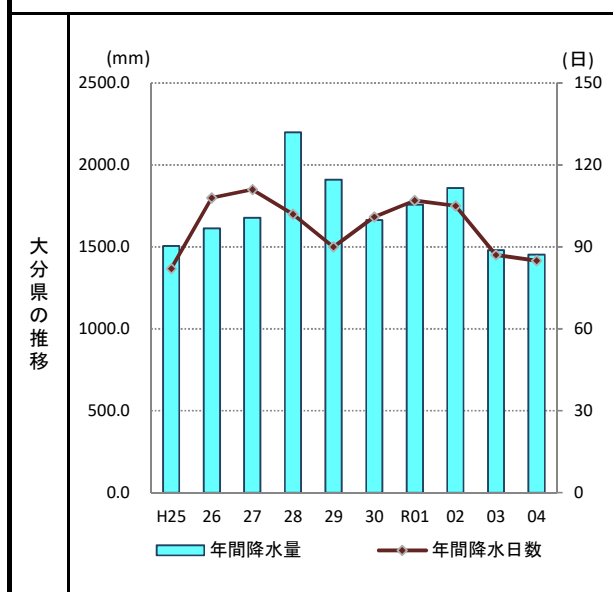
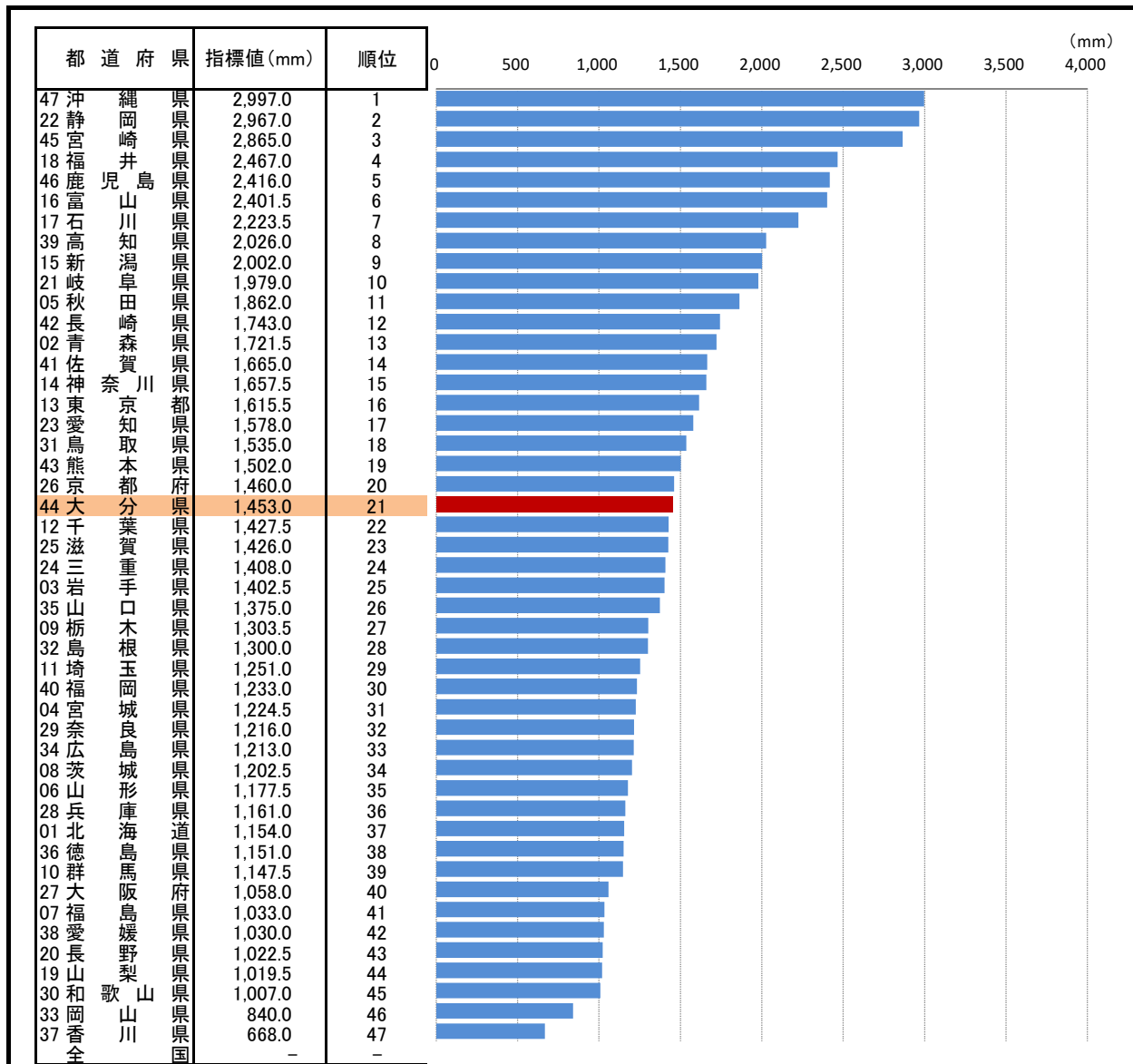
○ 指標計算式

分子: 森林面積 分母: 総土地面積
※北方領土及び竹島を除く。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

17. 年間降水量

— 令和4年 —



○ 概要
令和4年の大分県(大分市)の年間降水量は1,453.0mmで、全国21位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標(令和4年)

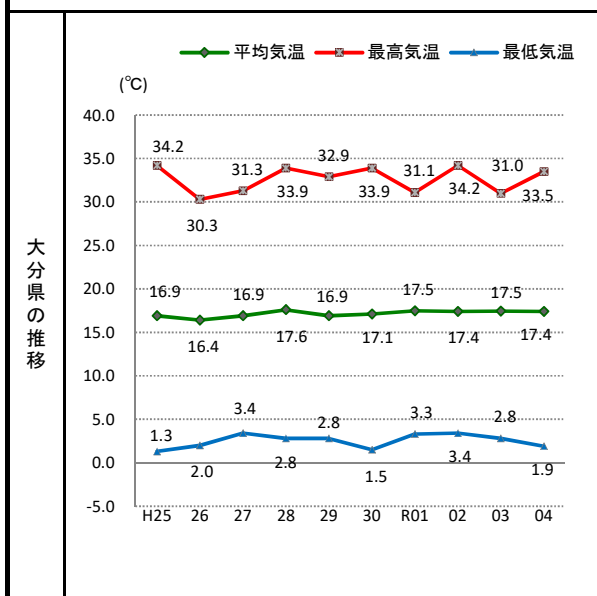
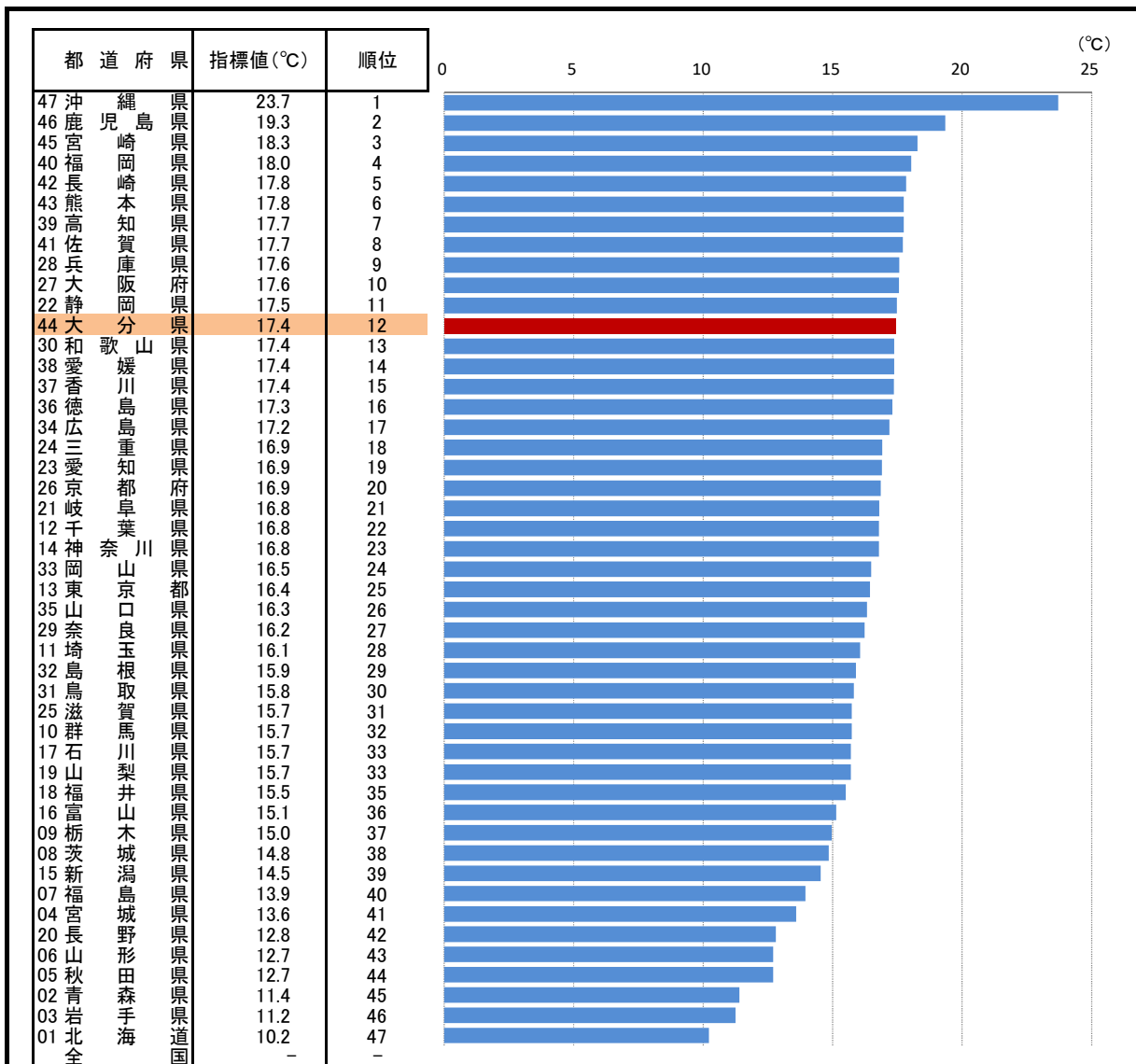
	大分県	全国順位
年間降水量(mm)	1,453	21位
年間降水日数	85	40位

○ 資料出所: 気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
 ○ 調査期日: 年間
 ○ 調査周期: 毎年
 ○ 年間降水量: 転倒ます型雨量計による観測値で年間の総雨量をmm単位で示したもの
 ○ 年間降水日数: 日降水量が1mm以上であった日の年間の日数
 ※ 数値は、都道府県庁所在市のデータである。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値である。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

18. 年平均気温

— 令和4年 —



参 考

○ 概 要
令和4年の大分県(大分市)の年平均気温は17.4°Cで、全国12位となっている。

○ 基礎データ及び参考指標(令和4年)

	大分県	全国順位
年平均気温(°C)	17.4	12位
最高気温(°C)	33.5	10位
最低気温(°C)	1.9	11位

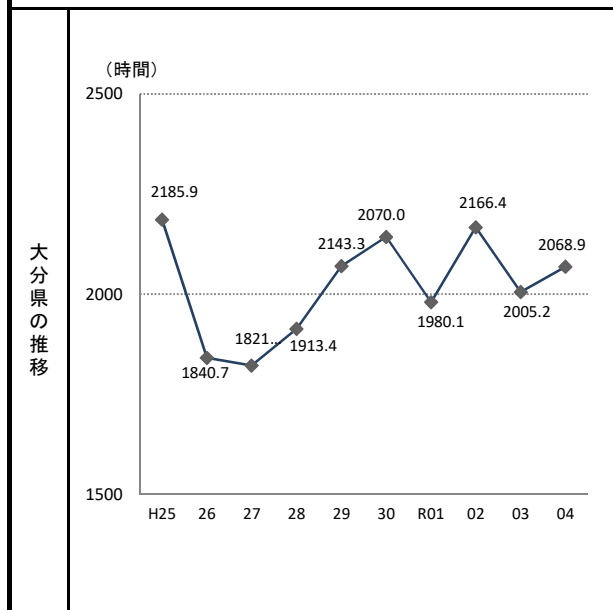
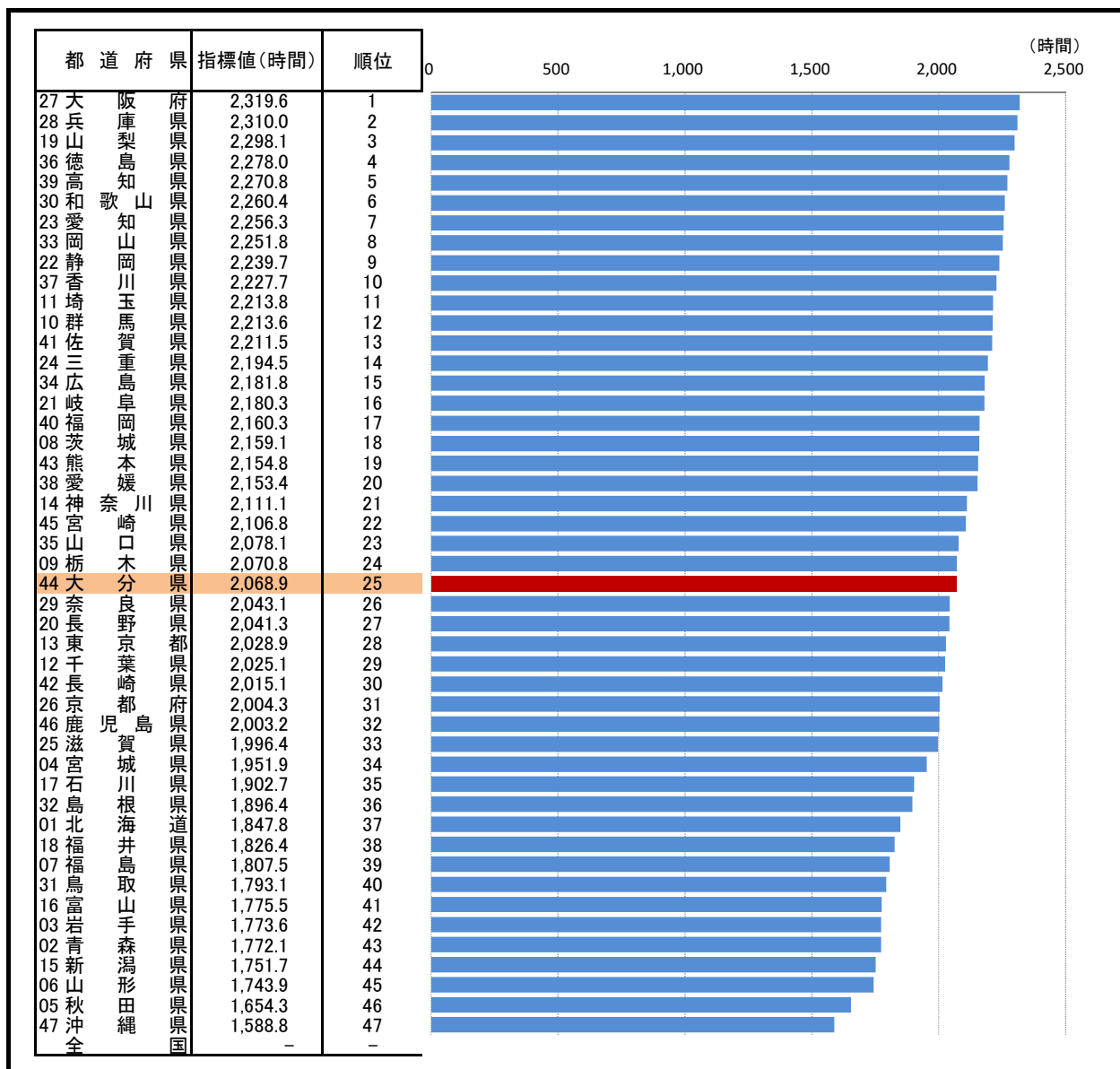
摘 要

○ 資料出所: 気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
 ○ 調査期日及び周期: 年間及び毎年
 ○ 年平均気温: 気温は°C単位で少数第1位まで採り、1日24回の観測値から日平均気温を求め、それから算出した年平均の気温
 ○ 最高(最低)気温: 月平均の日最高(最低)気温のうち、年間を通じて最高(最低)の月平均気温
 ※ 数値は、都道府県庁所在市のデータ。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値

* 順位は数値の大きい方からつけています。

19. 年間日照時間

— 令和4年 —



○ 概要
令和4年の大分県(大分市)の年間日照時間は2,068.9時間で、全国25位となっている。

○ 基礎データ(令和4年)

	大分県	全国順位
年間日照時間(時間)	2,068.9	25位

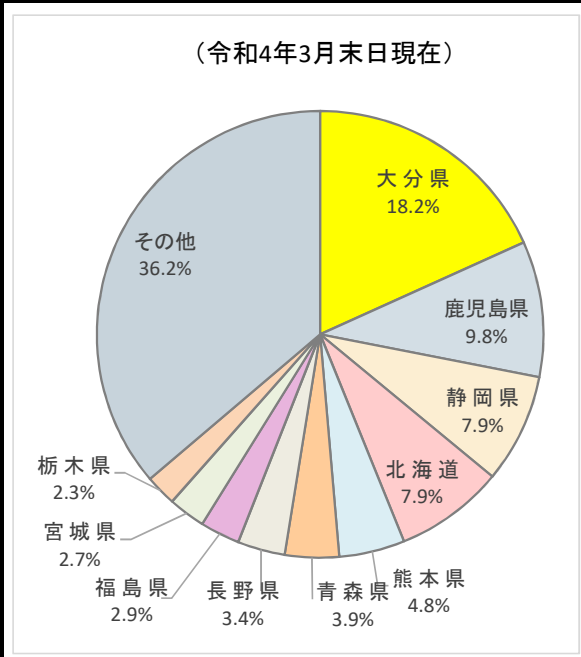
○ 資料出所: 気象庁HP「過去の気象データ・ダウンロード」
○ 調査期日: 年間
○ 調査周期: 毎年
○ 年間日照時間: 回転式日照計による値であり、直射日光が地表を照射した時間の年間の合計
※ 数値は、都道府県庁所在市のデータ。ただし、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の気象台・測候所の観測値

* 順位は数値の大きい方からつけています。

20. 温泉源泉総数

— 令和3年度 —

順位	都道府県	指標値 (孔)	0	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000 (孔)
1	大分県	5,093							
2	鹿児島県	2,745							
3	静岡県	2,206							
4	北海道	2,203							
5	熊本県	1,328							
6	青森県	1,095							
7	長野県	958							
8	福島県	801							
9	宮城県	751							
10	栃木県	629							
11	秋田県	618							
12	神奈川県	610							
13	新潟県	536							
14	岐阜県	509							
15	和歌山県	503							
16	群馬県	459							
17	兵庫県	443							
18	山形県	417							
18	福岡県	417							
20	山口県	400							
21	岩手県	395							
22	広島県	369							
23	鳥取県	364							
24	山梨県	351							
25	石川県	331							
26	島根県	255							
27	岡山県	223							
28	三重県	210							
29	長崎県	202							
29	宮崎県	202							
31	香川県	199							
32	愛媛県	197							
33	佐賀県	187							
34	富山県	176							
35	東京都	166							
36	福井県	156							
37	茨城県	154							
38	大阪府	151							
39	京都府	148							
40	千葉県	146							
41	愛知県	135							
42	埼玉県	116							
43	高知県	97							
44	滋賀県	86							
45	徳島県	81							
46	奈良県	76							
47	沖縄県	21							
-	全国	27,915							



○ 概要
令和4年3月末日現在の大分県の温泉源泉数は5,093孔で、全国の温泉源泉数の18.2%を占め、全国1位となっている。

○ 基礎データ(令和4年3月31日現在)

	大分県	全国
温泉源泉総数(孔)	5,093	27,915
全国に占める割合(%)	18.2	-

○ 資料出所
環境省「令和3年度温泉利用状況」

○ 調査時点
令和4年3月31日

○ 調査周期
毎年度

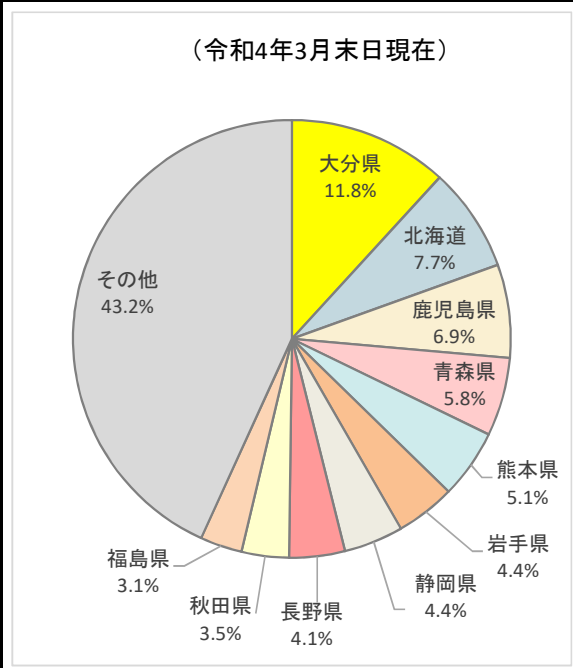
○ 温泉源泉
地中から温泉が湧き出てくる場所。源泉の湧出形態は大別して「自然湧出」、「掘削自噴」及び「掘削動力揚湯」の3種類がある。源泉総数は、「利用源泉数」及び「未利用源泉数」の合計。

* 順位は数値の大きい方からつけています。

21. 温泉湧出量

— 令和3年度 —

順位	都道府県	指標値 (kl/分)	0	50	100	150	200	250	300 (kl/分)
1	大分県	298.3	[Red bar]						
2	北海道	195.0	[Blue bar]						
3	鹿児島県	174.7	[Blue bar]						
4	青森県	147.0	[Blue bar]						
5	熊本県	129.4	[Blue bar]						
6	岩手県	112.1	[Blue bar]						
7	静岡県	110.8	[Blue bar]						
8	長野県	103.5	[Blue bar]						
9	秋田県	87.0	[Blue bar]						
10	福島県	78.3	[Blue bar]						
11	岐阜県	69.3	[Blue bar]						
12	新潟県	65.7	[Blue bar]						
13	栃木県	62.7	[Blue bar]						
14	和歌山県	57.8	[Blue bar]						
15	群馬県	54.2	[Blue bar]						
16	福岡県	51.6	[Blue bar]						
17	兵庫県	48.2	[Blue bar]						
18	山形県	48.0	[Blue bar]						
19	三重県	46.7	[Blue bar]						
20	山梨県	37.5	[Blue bar]						
21	大阪府	32.9	[Blue bar]						
22	広島県	32.7	[Blue bar]						
23	島根県	32.4	[Blue bar]						
24	石川県	31.3	[Blue bar]						
25	神奈川県	31.2	[Blue bar]						
26	富山県	30.3	[Blue bar]						
27	東京都	30.3	[Blue bar]						
28	長崎県	26.8	[Blue bar]						
29	宮崎県	25.3	[Blue bar]						
30	山口県	23.5	[Blue bar]						
31	茨城県	22.7	[Blue bar]						
32	宮城県	22.5	[Blue bar]						
33	岡山県	22.1	[Blue bar]						
34	佐賀県	21.9	[Blue bar]						
35	鳥取県	20.9	[Blue bar]						
36	京都府	20.2	[Blue bar]						
37	愛媛県	18.8	[Blue bar]						
38	愛知県	16.5	[Blue bar]						
39	埼玉県	15.5	[Blue bar]						
40	千葉県	12.3	[Blue bar]						
41	香川県	10.9	[Blue bar]						
42	滋賀県	10.7	[Blue bar]						
43	福井県	7.8	[Blue bar]						
44	徳島県	7.4	[Blue bar]						
45	奈良県	6.4	[Blue bar]						
46	沖縄県	5.1	[Blue bar]						
47	高知県	2.8	[Blue bar]						
-	全国	2,518.9	[Total bar]						



○ 概要
 令和4年3月末日現在の大分県の温泉湧出量は298.3kl/分で、全国の温泉湧出量の11.8%を占め、全国1位となっている。

○ 基礎データ(令和4年3月31日現在)

	大分県	全国
温泉湧出量(kl/分)	298.3	2,519
全国に占める割合(%)	11.8	-

○ 資料出所
 環境省「令和3年度温泉利用状況」

○ 調査時点
 令和4年3月31日

○ 調査周期
 毎年度

○ 温泉湧出量
 温泉が源泉から単位時間当たり湧き出る量。1分間に源泉から採取できる量を測定したもの。多ければ多いほど湯量が豊富になる。温泉地の地形、源泉数、源泉の形式などによって左右される。

* 順位は数値の大きい方からつけています。